

シビルNPO 推進小委員会の活動

シビルNPO 連携プラットフォーム サポーター
土木学会/教育企画・人材育成委員会/シビルNPO 推進小委員会 幹事長
(株式会社ブレック研究所)



柴田 勝史

■ シビルNPO 推進小委員会とは

＜これまでの活動＞

シビルNPO 推進小委員会の前身は「建設系NPO 法人中間支援組織設立準備委員会と同準備会」で、さらにその前身は「成熟したシビルエンジニア活性化小委員会」です。平成26年4月にCNCPが設立され、土木学会内にもCNCPと連携を強めるための「シビルNPO 推進小委員会」が設立されました。その後、この小委員会では、防災・減災分野で活躍するシビルNPOの実態調査や支援策検討等、シビルNPOの活性化に資する調査研究活動を進めてきました。最近では「地方自治体とシビルNPOの協働に関するアンケート調査等」をとりまとめました。是非、シビルNPO 推進小委員会のホームページ※1をご覧ください。

※1 『土木インフラ・まちづくりにおける市民協働に関するアンケート』調査結果報告（概要版）
<http://committees.jsce.or.jp/education14/node/33>

＜現在の活動＞

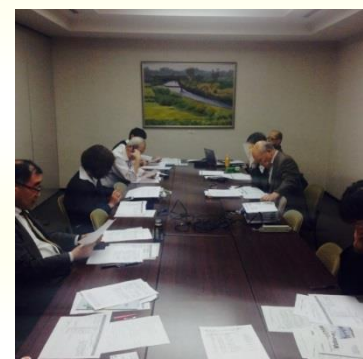
CNCPは、平成30年5月の活動見直しワーキング報告※2において「“土木と市民社会をつなぐ”ことを基本テーマとし、学会との連携等のプロジェクトを再整理」し、新しくできた土木学会連携部門を中心に、「土木と市民社会をつなぐフォーラム」の設立に向けた準備を進めることとなりました。土木学会の組織であるシビルNPO 推進小委員会も、これに呼応するかたちで、平成30年度より、「土木と市民社会をつなぐフォーラム」の設立に向けた準備を始めました。

※2 「活動見直しワーキング報告」（平成30年5月、CNCP 活動見直しワーキングチーム）

■ フォーラムの準備に向けて

「土木と市民社会をつなぐフォーラム」の機能や活動の具体内容は、今後立ち上げられる「準備会」（2019年6月予定）で議論・検討していく予定です。シビルNPO 推進小委員会は、この準備会設立に向けた前捌きとして、フォーラムが備えるべき機能や活動内容のイメージについて、議論しています（写真）。

準備会には、シビルNPO 推進小委員会メンバー、CNCPの有志、土木学会の各組織（土木広報センター、各委員会等）などが参加予定です。フォーラムの趣旨に共感し、興味をもっていただいたCNCP サポーターの方も大歓迎です。なお、フォーラム準備会の詳細は、CNCP ホームページ※3に掲載されています。



小委員会の風景

※3 CNCP ホームページ / フォーラム準備会
http://npo-cnnp.org/business/forum_pre/index.php

■フォーラムの語源から、その意義を考えてみる

<フォーラム>の語源は、古代ローマ都市の公共広場をさす<Forum（フォルム）>だそうです。Forumは、都市生活・政治・経済の中心であるとともに、人々の政治的な活動のための集会等も行われていたようです^{※4}。人々が共通な関心事について語り合う空間のことを、哲学用語で「公共圏」というそうですが^{※5}、古代ギリシアやローマにおける広場は「公共圏」の形成において中核的な役割を担っていたという見方があります^{※4}。つまり、多くの人々が集まる公共広場では、多様な意見が提出・討議され、より有意義で説得力のある意見へと集約され、公論が形成され、社会システムの変化につながったということです。

CNCPの代表理事や土木学会連携部門長が過去のCNCP通信^{※6・7}で述べられたように、「土木」と「市民社会」に乖離が生じており、これを解消することが「土木と市民社会をつなぐフォーラム」の設立のねらいです。その解消のあり方としては、フォーラムを現代の<Forum>として見立てるならば、土木業界の人もそうでない人も、様々な立場や考え方をもち人が集い、意見交換・交流が活発に行われることで「公共圏」が形成され、社会を変えていく…かもしれません。

※4 「広場の利用・管理に関する研究会報告書」（平成24年8月、公益財団法人都市計画協会）の「II-1 生活世界広場」（渡辺達三）より。

※5 コトバンク <https://kotobank.jp/word/%E5%85%AC%E5%85%B1%E5%9C%8F-186002>

※6 CNCP通信 Vol.55 / 土木学会連携部門活動紹介 土木と市民社会をつなぐ活動

※7 CNCP通信 Vol.57 / 「土木と市民社会をつなぐ」シリーズ、第1回 シリーズ掲載にあたって

■一緒に<Forum>をつくりませんか（小委員会での議論のご紹介）

CNCP通信 Vol.55^{※6}の土木学会連携部門の活動紹介で、フォーラムの目的が2つ紹介されました。この2項目に沿って、シビルNPO推進小委員会におけるこれまで議論の中から、概ねコンセンサスが得られていることを中心に、一部ご紹介します（下記★①②参照）。

①も②も、土木の人間だけで考えていては、従来型の踏襲や独りよがりによるリスクがあります。土木からちょっと外れて他業界で活躍している人、第一線からは退いたが市民社会とつながっている人、土木業界人の考えがなかなか理解できないのでモノ申したい人…など、フォーラムの趣旨に共感し、賛同いただける方の参加を心よりお待ちしております！

★目的①：活動情報の集約とフォーラム外への広報

- 世の中には「土木と市民社会をつないでいる」様々な活動があるので、それらのエッセンスを把握し、市民社会へ広く紹介・発信することが重要である
- フォーラムがめざすべき情報発信は、従来型（土木業界内の論理、一方的な説明、専門用語が多く難解…等）ではなく、新たな型（市民社会の視点、双方向・対話型と一緒に考える、生活に密着したことで理解可能…等）であるべきである
- 市民社会のユーザーから見て利用しやすいかの視点に立ち、ICTを含めた様々なコミュニケーションツールを駆使していくべきではないか …等々

★目的②：フォーラム内での活動情報の共有や連携・協働

- シビルNPO等が、フォーラムへの参加にメリットを見出し、積極的に参加・利用してもらうには、どのような機能が備わっているべきだろうか
- 互いの活動の報告、困りごとなどの共有、解決に向けたヒント入手、専門的知識の向上、人的なつながりやネットワーク形成…などができる機能があるとよいのではないか
- インターネットの活用が前提となるだろうが、コミュニケーションの頻度や、リアル世界でのつながりはどうあるべきか …等々

以上